

平成18年12月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

平成18年10月27日

上場会社名 **株式会社京都ホテル**

(コード番号：9723 大証第2部)

(URL <http://www.kyotohotel.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 島津 忠之
責任者役職・氏名 経理部長 柳瀬 光義

TEL：(075)211-5111

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
内容： 連結(新規) 2社 (京都ホテル実業㈱、京都ホテルサービス㈱)

2. 平成18年12月期第3四半期財務・業績の概況(平成18年1月1日～平成18年9月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)本表ならびに添付資料の記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年12月期第3四半期	7,225	4.1	302	42.0	108		161	
17年12月期第3四半期	6,941	3.9	520		112		16	
(参考)17年12月期	9,827	2.9	1,081	38.0	543	1.5	444	184.0

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年12月期第3四半期	15	73		
17年12月期第3四半期	1	57		
(参考)17年12月期	43	17		

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期のがわが国経済は、原油高騰などの不安要素を抱える一方、企業業績の回復や個人消費の順調な推移により穏やかながら景気拡大の兆しが見られました。

京都市内のホテルにおきましても底堅い京都人気により、国内および海外からの観光客の宿泊も順調に推移いたしました。

このような状況の中、当社におきましても宿泊部門は京都ホテルオークラの改装した客室が高い評価を得ており、また課題である宴会部門の婚礼も積極的な営業活動の強化により獲得件数が増加するなど好材料が揃ってまいりました。

この結果、子会社2社を新規連結したことによる売上増もあり、売上高は72億2,598万円(前年同期比4.1%増)となりました。

(宿泊部門)

京都ホテルオークラの平成18年7月から9月の第3四半期は、国内団体営業が順調であったことと、1室単価が前年同期比380円増と客室改装による値上げ効果が出て、室料売上は前年同期比2,178万円の増となりましたが、平成18年1月から9月の売上では上半期の減少が響き、当部門の売上は前年同期比1,996万円の減少となりました。

からすま京都ホテルの平成18年7月から9月の第3四半期は、インターネット経由による客室販売が好調でしたが、エージェン트経由の国内個人客が振るわず、稼働率は前年同期比1.6%増であったものの1室単価が150円減、また雑貨売上も減となり、売上は前年同期比652万円の減となりました。平成18年1月から9月の売上は上半期の増加もあり前年同期比172万円の増となりました。

この結果、売上高は20億6,566万円(前年同期比0.9%減)となりました。

(宴会部門)

京都ホテルオークラの平成18年7月から9月の第3四半期は、婚礼件数が前年同期比33件増と好調に推移いたしました。上半期の一般宴会の好調もあり、平成18年1月から9月の売上は前年同期比1億6,645万円の増となりました。

からすま京都ホテルの平成18年7月から9月の第3四半期は、8月、9月の売上は順調に推移したものの、祇園祭で賑わう7月が和装業界からの送客減により売上が落ち込み、平成18年1月から9月の売上は前年同期比1,779万円の減となりました。

この結果、売上高は26億984万円(前年同期比6.0%増)となりました。

(レストラン部門)

京都ホテルオークラの平成18年7月から9月の第3四半期は、京料理「入舟」、カフェ「レックコート」、バー「チップンデール」などが順調に推移したものの、他のレストランは9月が低調となり、レストラン全体では前年実績を下回りました。平成18年1月から9月の売上は前年同期比442万円の微増となりました。

からすま京都ホテルの平成18年7月から9月の第3四半期は、味処「すすほり」が好調に推移し、9月は中国料理「桃李」が売上を伸ばしましたが平成18年1月から9月の売上は前年を上回ることができませんでした。

この結果、売上高は19億1,881万円(前年同期比0.7%減)となりました。

部門別の売上高および構成比は、以下のとおりです。

	18年12月期第3四半期 (自平成18年1月1日 至平成18年9月30日)		17年12月期第3四半期 (自平成17年1月1日 至平成17年9月30日)		増減
	金額	構成比	金額	構成比	増減率
	百万円	%	百万円	%	%
宿泊部門	2,065	28.6	2,083	30.0	0.9
宴会部門	2,609	36.1	2,461	35.5	6.0
レストラン部門	1,918	26.6	1,931	27.8	0.7
その他部門	631	8.7	464	6.7	35.9
合計	7,225	100.0	6,941	100.0	4.1

(注) その他部門の増は、当連結会計期間より子会社2社を連結の範囲に含めたことによるものです。

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
18年12月期第3四半期	23,065	921	4.0	89	51
17年12月期第3四半期	23,594	627	2.7	60	85
(参考)17年12月期	23,385	1,073	4.6	104	20

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における総資産は、子会社2社を連結の範囲に取込み増加の要因はあったものの、有形固定資産の減価償却実施等による減少要因が相殺され、前第3四半期に比べ5億28百万円減少し、230億65百万円となりました。

負債につきましては、長期借入金、短期借入金の返済および保証金の返還により、前第3四半期に比べ8億23百万円減少し、221億43百万円となりました。

また、純資産の部は利益剰余金が前第3四半期より2億90百万円改善したことなどにより、9億21百万円となりました。

[参 考]

平成18年12月期の連結業績予想(平成18年1月1日～平成18年12月31日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
通 期	10,306	299	184

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 17円 86銭

平成18年12月期の個別業績予想(平成18年1月1日～平成18年12月31日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
通 期	10,051	296	181

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 17円 57銭

[業績予想に関する定性的情報等]

通期の業績予想につきましては、平成18年7月28日に発表の業績予想から変更はありません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

科 目	当四半期 (平成18年12月期 第3四半期末)		前四半期 (平成17年12月期 第3四半期末)		増減 (減少)	(参考) 平成17年12月期	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)		金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)							
流動資産							
1. 現金及び預金	1,462,705		1,514,642		51,936	1,305,062	
2. 売掛金	411,185		405,644		5,541	535,607	
3. たな卸資産	76,155		71,981		4,173	109,858	
4. その他	84,296		66,875		17,421	49,393	
5. 貸倒引当金	1,553		1,000		553	1,000	
流動資産合計	2,032,790	8.8	2,058,144	8.7	25,353	1,998,921	8.5
固定資産							
1. 有形固定資産	20,562,302		21,021,183		458,880	20,845,157	
2. 無形固定資産	34,992		20,031		14,961	21,594	
3. 投資その他の資産	435,548		495,172		59,624	519,628	
固定資産合計	21,032,843	91.2	21,536,386	91.3	503,543	21,386,380	91.5
資産合計	23,065,633	100.0	23,594,531	100.0	528,897	23,385,302	100.0
(負債の部)							
流動負債							
1. 買掛金	193,005		125,853		67,152	229,472	
2. 短期借入金	2,547,300		2,756,100		208,800	2,597,400	
3. 1年以内返済予定長期借入金	575,800		520,000		55,800	515,000	
4. 未払法人税等	23,033		19,389		3,643	25,162	
5. 未払金	382,896		409,816		26,919	427,139	
6. その他	666,653		697,314		30,661	470,038	
流動負債合計	4,388,688	19.0	4,528,473	19.2	139,785	4,264,214	18.2
固定負債							
1. 長期借入金	15,869,620		16,439,420		569,800	16,153,420	
2. 退職給付引当金	170,114		156,369		13,744	152,511	
3. 預り保証金	1,630,525		1,770,356		139,831	1,654,104	
4. 役員退職慰労引当金	64,731		58,235		6,495	59,911	
5. 繰延税金負債	20,004		14,628		5,375	27,608	
固定負債合計	17,754,994	77.0	18,439,010	78.1	684,015	18,047,555	77.2
負債合計	22,143,683	96.0	22,967,484	97.3	823,800	22,311,769	95.4
(資本の部)							
資本金	-	-	950,000	4.0	-	950,000	4.1
資本剰余金	-	-	209,363	0.9	-	209,363	0.9
利益剰余金	-	-	542,835	2.3	-	114,094	0.5
その他有価証券評価差額金	-	-	21,225	0.1	-	40,426	0.2
自己株式	-	-	10,706	0.0	-	12,162	0.1
資本合計	-	-	627,046	2.7	-	1,073,532	4.6
負債及び資本合計	-	-	23,594,531	100.0	-	23,385,302	100.0
(純資産の部)							
株主資本							
1. 資本金	950,000		-		-	-	
2. 資本剰余金	209,363		-		-	-	
3. 利益剰余金	252,597		-		-	-	
4. 自己株式	14,106		-		-	-	
株主資本合計	892,658	3.9	-	-	-	-	-
評価・換算差額等							
1. その他有価証券評価差額金			-		-	-	
評価・換算差額等合計	29,291	0.1	-	-	-	-	-
純資産合計	921,950	4.0	-	-	-	-	-
負債純資産合計	23,065,633	100.0	-	-	-	-	-

2. (要約) 四半期連結損益計算書

	当四半期 (平成18年12月期 第3四半期)		前四半期 (平成17年12月期 第3四半期)		増減 (減少)	(参考) 平成17年12月期	
	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)		金額(千円)	金額(千円)
売上高	7,225,986	100.0	6,941,871	100.0	284,115	9,827,345	100.0
売上原価	1,556,788	21.5	1,390,188	20.5	166,599	2,002,044	20.4
売上総利益	5,669,198	78.5	5,551,683	79.5	117,515	7,825,301	79.6
販売費及び一般管理費	5,367,138	74.3	5,031,118	70.5	336,020	6,744,096	68.6
営業利益	302,059	4.2	520,564	9.0	218,504	1,081,204	11.0
営業外収益							
1.受取利息	3,387		21		3,367	2,486	
2.受取配当金	1,605		1,233		372	1,608	
3.消費税還付額	-		25,086		25,086	33,346	
4.その他	6,198		4,889		1,309	6,774	
営業外収益計	11,192	0.1	31,230	0.5	20,038	44,215	0.4
営業外費用							
1.支払利息	394,996		411,655		16,659	545,226	
2.その他	26,665		27,977		1,312	36,540	
営業外費用計	421,661	5.8	439,633	6.3	17,971	581,766	5.9
経常利益又は経常損失()	108,409	1.5	112,161	1.6	220,570	543,653	5.5
特別利益							
1.貸倒引当金戻入益	-	-	-	-	-	2,917	0.0
特別損失							
1.減損損失	26,322		-		26,322	-	
2.役員退職慰労引当金繰入額	-		84,030		84,030	84,030	
3.固定資産除却損	21,387		11,425		9,961	16,690	
特別損失計	47,709	0.7	95,455	1.4	47,745	100,720	1.0
税金等調整前四半期(当期) 純利益又は税金等調整前四 半期(当期)純損失()	156,119	2.2	16,706	0.2	172,825	445,850	4.5
法人税、住民税及び事業税	5,840	0.0	519	0.0	5,320	922	0.0
四半期(当期)純利益又は 四半期(当期)純損失()	161,959	2.2	16,186	0.2	178,145	444,927	4.5

3 . (要約)四半期連結株主資本等変動計算書

当第3四半期(自 平成18年1月1日 至 平成18年9月30日)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成17年12月31日残高 (千円)	950,000	209,363	114,094	12,162	1,033,106	40,426	40,426	1,073,532
当四半期中の変動額								
四半期純損失()			161,959		161,959			161,959
子会社の新規連結に伴う 利益剰余金の変動額			23,456		23,456			23,456
自己株式の取得				1,944	1,944			1,944
株主資本以外の項目の四 半期連結会計期間中の変 動額(純額)						11,134	11,134	11,134
当四半期中の変動額合計 (千円)			138,503	1,944	140,447	11,134	11,134	151,582
平成18年9月30日残高 (千円)	950,000	209,363	252,597	14,106	892,658	29,291	29,291	921,950

4. 会計処理の変更

(固定資産の減損に係る会計基準)

「固定資産の減損に係る会計基準」(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会平成14年8月9日))および「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会平成15年10月31日企業会計基準適用指針第6号)を当四半期連結会計期間より適用しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、税金等調整前四半期純損失が26,322千円増加しております。なお、減損損失累計額につきましては、改正後の連結財務諸表規則に基づき各資産の金額から直接控除しております。

(役員賞与に関する会計基準)

「役員賞与に関する会計基準」(企業会計基準委員会企業会計基準第4号平成17年11月29日)を当四半期連結会計期間より適用しております。

これに伴い、当四半期連結会計期間より役員賞与を発生した連結会計期間の費用として処理することとしております。これによる損益に与える影響はありません。

(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準)

「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号平成17年12月9日)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号平成17年12月9日)を当四半期連結会計期間より適用しております。

従来の資本の部の合計に相当する合計は、921,950千円であります。

なお、連結財務諸表規則の改正により、当四半期連結会計期間における四半期連結貸借対照表の純資産の部については改正後の連結財務諸表規則により作成しております。